

平成24年 第9回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成24年6月6日(水)
- 開会 午前9時 閉会 午後9時40分
- 2 場 所 大宮庁舎4階 第5会議室
- 3 出席委員名 小松慶三、文珠清道、森 益美、野木三司、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂、
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、
社会教育課長 土出政信、子ども未来課長 中村八寿子、
総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 坪倉武広
- 7 議 事
- ・委員長職務代理者の選挙について
 - (1) 議案第52号 男子第64回・女子第29回近畿高等学校駅伝競走大会に係る後援について
 - (2) 議案第53号 丹後国建国1300年事業「シンポジウム・邪馬台国時代の大和と旦波(丹後・丹波)」に係る後援について
 - (3) 報告第11号 京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
- 8 その他
- 9 会議録 別添のとおり(全9頁)
- 10 会議録署名
- 別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成24年7月3日

委員長 小松 慶三

署名委員 野木 三司

- 〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会委員長 小松慶三
- 〔被招集者〕 文珠清道、森 益美、野木三司、米田敦弘
- 〔欠 席 者〕 なし
- 〔説 明 者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹
子ども未来課長 中村八寿子、社会教育課長 土出政信
総括指導主事 後藤幸雄
- 〔書 記〕 教育総務課長補佐 坪倉武広

〈小松委員長〉

ただいまから「平成24年 第9回京丹後市教育委員会定例会」を開会いたします。

さる5月の末、新しいかたちでの市長並びに議会議員の方によります議会の定例会がございました。そうした中で、教育委員として米田教育長並びに文珠委員長職務代理の任期の満了ということでございまして、その任命につきまして議会のご承認をいただいた中で、米田教育長並びに文珠委員長職務代理におかれましては、引続きご苦勞になると思っておりますがどうかよろしくお願い致したいと思っております。

それでは、まず委員長報告ということでございまして、前回の5月10日に行われました教育委員会の定例会、そしてまた19日は平井嘉一郎文庫の作文コンクールの入選作品の発表、並びに表彰式ということで森委員にはお世話になりました。ありがとうございます。また、5月22日は教育委員会の臨時会ということをもちまして、前回の定例会においての神野小学校並びに湊小学校の再配置、そしてまた臨時会ということで久美浜中学校と高龍中学校の再配置、これにつきましても昨日の議会のほうに提案させていただくことができまして、皆様のおかげだと厚く感謝申し上げるところでございます。そしてまた、5月の24日は地方教育委員会連合会定期総会がございまして、和やかな中に研修並びに意見の交換等、親密なる関係を築くことができたのではないかなと思っております。そしてまた、5月の25日は京都府市町村教育委員会連合会ということで定期総会がございました。ご参加いただきましてありがとうございます。そして5月31日並びに6月1日市議会がございました。本当に教育委員会には教育に対していろいろな質問が一般質問であがってくる状況でございます。真摯に、正直に、真正面からぶつかってご理解を賜りながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともどうかよろしくお願い致したいと思っております。

次に、米田教育長から第7回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心と致しまして、教育長報告を御願ひ致します。

〈米田教育長〉

みなさんおはようございます。早くも6月に入ってしまった。委員長が言われまし

たように、6月議会も始まり、一般質問も通告も受け、教育委員会事務局をあげて答弁書の作成にかかっております。5月31日の議会の召集日に議員さんの構成も決まりました。別紙にメモをしておきましたのでまたご覧ください。同時に、これも委員長の挨拶と重なりますが、7月7日に任期が満了する私、それから文珠氏の再任ということで継続が決定いたしました。体力とか年とかいろいろなことに自信がありませんが、よろしく支えていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。そうしたこともあり、今日は委員長職務代理者の選挙も行って、新しい体制作りに向けての動きが始まるというふうに大事な会議と思っております。学校再配置がピークに差し掛かる、小中一貫教育を軸といたします教育改革構想の肉付けをして地域の方々にも目に見えるものにしていく、それから公民館の再編、それから保育所の問題、大きな課題が山積しておる中ですけれども、教育委員さんの会議、またそれを受けて事務局は力を合わせて乗り切りたいというふうに考えております。一般質問も非常にたくさんいただいておりますが、委員長が言われましたように、誠意を持ってお答えしていきたいと思っております。今日、大変大きな課題がありますので、動静については目を通していただければと思いますが、ここでお願いをしていた通りに、再配置の学校条例が決定されました。その関係だけをちょっとしてご説明しておきますと、5月の21日、1ページの1番下ですが、高龍中それから久美浜中の学校づくり準備協議会が開かれまして、この教育委員会の委員さん方全員一致で久美浜中学校ということで決定をされました。翌日に、教育委員会議会で検討していただいたというものです。それから最後のページですが、今言いました6月1日の議会の2日目にこの学校条例の一部改正、またそれに伴う施設の関係の条例が議決をされました。ということで報告させていただきます。後は目を通しておいてください。本日は短時間の中になりますが、中身の濃い会議をひとつよろしく申し上げます。

<小松委員長>

ただいまの教育長報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。

<小松委員長>

それでは次に会議録の承認を行います。第7回の署名委員は森委員、第8回の署名委員は文珠委員です。会議録につきましては、お手元に送付しております原案のとおり承認としてよろしいでしょうか。

<全委員>

了承。

<小松委員長>

では、原案どおり承認いたします。

本日の会議録署名委員の指名を致します。

野木委員を指名いたしますのでお願いします。

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。

まず、委員長職務代理者の選挙を執り行いたいと思います。

委員長職務代理者につきましては、委員長の選挙（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第12条）の例によることとし任期は1年となっております。従って7月2日を

もって終了いたします。従いまして、平成24年7月3日から平成25年7月2日までの次期委員長職務代理者を選挙で選出していただきたいと思っております。

それでは、委員長職務代理者の選挙を行います。単記・無記名でよろしくお願い致します。

〔書記が投票用紙を配布〕

〔委員各位が投票〕

〔書記が投票用紙を集め、開票し、開票結果を小松委員長に示す〕

〈小松委員長〉

投票の結果をお知らせいたします。

投票の結果、委員長職務代理者につきましては文珠委員に決定いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

〈文珠委員長職務代理〉

ただ今決定いただきまして、誠にありがとうございます。大変頼りない職務代理だというふうに思っております。これから1年、一生懸命務めてまいりたいと思っておりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

〈小松委員長〉

申し加えさせていただきますけれど、文珠委員の任期は平成24年7月7日までとなっておりますので、一旦そこで切れてまいります。平成24年7月3日から7月7日までとしていただきまして、7月8日以降、平成25年7月2日までの委員長職務代理者については次回の教育委員会で変則ですけれど再度選挙させていただきますと決定していただくという形になりますことを申し付けておきます。

それでは議案に入らせていただきます。

議案第52号「男子第64回・女子第29回近畿高等学校駅伝競走大会に係る後援について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

この件につきましては教育次長の方から説明いたします。

〈吉岡教育次長〉

おはようございます。議案第52号「男子第64回・女子第29回近畿高等学校駅伝競走大会に係る後援について」説明をさせていただきます。この事業は、近畿高等学校駅伝競走大会と全国高等学校駅伝競走大会地区予選会を実施するというもので、平成25年から27年の3年間、京丹後市内をコースとして実施されるものでございます。市ではすでに高体連陸上部からの要請を受け、昨年度から準備の協力や担当者が視察等を行っておりますが、本年度設置される予定となっております実行委員会にも加わる予定で考えております。後援申請は来年度実施分のみとなっておりますが、主催は近畿高等学校体育連盟、近畿陸上競技協会、京都府教育

委員会、開催場所は京丹後市網野体育センター・アミティ丹後を主会場として、付けさせていただいております駅伝コースで実施をされます。開催日は平成25年11月16日の前日から17日、申請者は京都府高等学校体育連盟陸上競技専門部長の森利夫氏でございます。

以上、ご審議よろしくお願いいたします。

<小松委員長>

議案第52号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<文珠委員>

京丹後市でこういった大会が開催されるということは大変ありがたく喜ばしいことだというふうに思います。多くの方が事務局等として参加していかなくてはならないことだと思いますけれども、ぜひ頑張ってくださいたいです。大会が成功致しますようにご祈念申し上げますところでございます。以上です。

<小松委員長>

他にございませんか。

<小松教育長>

それではお諮りを致します。

議案第52号「男子第64回・女子第29回近畿高等学校駅伝競走大会に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認とさせていただきます。

続いて、議案第53号「丹後国建国1300年事業「シンポジウム・邪馬台国時代の和と旦波（丹後・丹波）」に係る後援について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

<米田教育長>

これにつきましても教育次長の方から説明します。

<吉岡教育次長>

それでは議案第53号「丹後国建国1300年事業「シンポジウム・邪馬台国時代の和と旦波（丹後・丹波）」に係る後援について」説明させていただきます。この事業につきましては、来年が丹後国が丹波の旦波の国から分国して1300年にあたることから、これを記念しまして市民が広く関心を持ち認識してもらうことを目的として講演、パネルディスカッション等の事業を実施するものでございます。市におきましても、丹後国建国1300年の事業として、各種の事業に取り組み始めたところでございます。主催は丹波の文化を

伝承する会、開催場所は峰山総合福祉センター、開催日は平成24年11月25日、申請者は同会会長藤村裕孝氏でございます。

以上ご審議よろしくお願ひいたします。

<小松委員長>

議案第53号を説明いただきました。

ご質問、ご意見等ございましたらお願ひ致します。

<小松委員長>

このパンフの後ろのところで、共催はないのですね。

それとも何か手書きで書いている市というところは違和感があって仕方ないのですが、校正中ということでもいいのでしょうか。

<吉岡教育次長>

まだ、日にちがあるので決定のものではないです。原案だと思っています。

<森委員>

丹後に生まれ育って丹後の地を出て初めて分かったのですけれども、その辺にいっぱい遺跡や古墳とかがあるのは当たり前だと思って育ってきた人間にしては、他ではありえないことだそうです。なので、これは大人を中心のシンポジウムになると思うのですけれども、子供たちにもこんな所に生まれ育っているんだという意味では、社会科というか、今は生活科というのでしょうか、1、2年生はすごくそういうところで勉強して行ってほしいなと思いますし、自分の故郷に誇りを持つという意味ではすごく大事なことではないかなと思いますので、少しでも地域の、丹後の歴史を子どもたちに触れさせていただきたいなと思っています。

<米田教育長>

その件であります、このこととそれからジオパークのこととか、丹後に目を向けるということについては非常に大事なことだと思います。子どもたちが地元で誇りを持ち丹後に魅力を持って、そして仮に都会に出ても友達を連れて丹後に帰って来る、やっぱり丹後に帰ろうとかいうような気持ちを育てるとかいうのは教育でも非常に大事にしたいと思います。そうした意味で去年から中学校の社会科副読本を1年余りかけて、文化財関係の方とか審議会の方とかそれから小中の社会の先生とか入っていただいて昨年度完成いたしました。それで今年中学校でそれを活用してもらおうというふうにしています。ただ今度心配なのは、中学校のどの時間で使うとかいうことがまだはっきりしていませんけれども、社会科の先生に複数出てきていただいていますのでそこを中心になりながら、京丹後の宝ものが非常に詰まった副読本で、市販をしたらどうかというような意見もあるくらいの本です。それから今ジオパークなんかの関係でジオパークのコースを、解説者をつけて回っていくという取組みも小学校なんかではしています。

<吉岡教育次長>

議会とかでも、いつも一般質問の中で定住促進の関係や少子化対策等の中で委員が言わ

れたように郷土愛というようなことがテーマで質問がされますので、今教育長が言われたようなことをいつも答えさせていただいています。学校の授業の中でもそういう取組みをさせていただいていますし、今ありましたように副読本を作成して、そういうものを利用した取組みをさせていただいているということです。

〈米田教育長〉

それから、丹後の資料館が網野と丹後町に2つありますね。今年も古代の里資料館の方をリニューアル計画ということで予算を非常にたくさん要望しております。付くか付かないかは別として、その両資料館にも小学生、小中と比べるとどうしても小学生のほうに圧倒的に多いのですが、小学生の見学学習に活用してくれております。

〈森委員〉

親の立場から言うと、学力が低下しているという問題から言うと、そんなことより勉強の方が先とちがうのかという思いもあるかもしれないのですが、それと平行してどうか、割合的にはとっても少ないのかもしれませんが、あの副読本に目を通すだけでもすごく興味が湧いてくる子には興味が湧いてくると思うので、使い方を上手にさせていただいて、せっかく良い本ができていますので本当に丹後を愛する子どもを作ってほしいなと思います。以上です。

〈小松委員長〉

丹後の副読本については、僕も自分でもわからなかったようなことがいっぱい出ておりましたし、これをある方に、丹後にたまたま赴任してこられた方にお見せしたところ、非常に興味を持たれて、やっぱりそれは丹後を思い出す、丹後の理解をいっそう深めていただくひとつだなと思っておまして、そういうことも含めて丹後を我々もなんとか地域のそういったことが分かるように、丹後の川上摩須郎女をいれて、丹後の七姫を作ったり、あるいはまた丹後王国というものをなんとかならないかなというふうに進めてきていたようなことが、こうやったまた1300年事業という形で大きく取り上げていただくことは地域の子どもたちにとっても良い事ではないのかなと思っております。期待しております。

〈小松委員長〉

他にございませんでしょうか。

〈野木委員〉

今小中学校の絡みみたいな、連携みたいなものもちょっと話の中に入ったのですが、この催し物そのものというのは別に小中学校の児童生徒にこれをという話ではないですね。非常に私このタイプのものというのは以前から興味は持っているのですが、私が教育委員会に入らせていただいて、せっかくこういう催し物というのが過去何度も行われている中でストレートに小学校、中学校の人たちがこういったものに絡ませるような企画が主催者の中でできないのかなと常々思っていたのです。確かにこの研究をしている人達にとっては非常に意義のある会だとは思いますが、それを教育現場にどう落とし込んでいくかということは、主催者もそうだし後援をする私たちも何とか実現できるような形ができないのかなと常々思っておりました。

<文珠委員>

私も野木委員と同じような考えがあります。このチラシの見出しにも載っていますが主催の丹波の文化を伝承する会というふうに記載しています。丹後ではなくて丹波の文化というふうに書いてありますのでこれは地元のグループではないのかな、どういうふうなグループなのかと、行政に関わっている人たちが寄り集まって作ったものではなくて、任意のグループで丹後の国の建国1300年ということに併せて後援をお願いします、ということであろうかなと思うわけですが、任意のグループが建国1300年のシンポをしてくださるという話がある中で、教育委員会としては、1300年を受けてどういう動きをしていくのか、考えておられると思うのですが、そういう動きがあるならばお聞かせ願いたいということと、それから公民館の中の活動の中にどのように取り入れていくのかということは今から指導主事さん含めて公民館の主事さん含めて検討されているのかなということが一つ気になります。それからせつかくの建国1300年というお祝い、任意の団体だけがするのではない、教育委員会だけがするのではなく市全体あげていかなければいけないと思います。やっぱり主催となってくるのは市だろうと思うわけですが、その中で何から何までは大変ですが、いろんな団体に、青年会議所もそうですし、公民館、環境保全会、活性化のためにこういうものをどんどん活用していきたいと思っている団体はたくさんあるかと思いますが、是非1300年事業の中に取り入れていっていただけるような環境づくりを進めていっていただきたいという思いがあります。そういう意味で、もう来年のことだと思いますので検討がもし成されているものがございましたら教えていただきたいというふうに思います。

<吉岡教育次長>

丹後建国1300年事業につきましては、実は昨年度から色々と協議が入ってまして、企画の方を中心としまして、京丹後市ではなくてこの宮津・与謝で話し合いをしながら進めさせていただいている状況があるのですが、まだ最終的にこういう形まででということの整理ができていない部分があります。というのが、各市町村、丹後観光キャンペーン事業を取組みの中で入れているのですが、予算の持ち出しが必要な関係もあって、各市町村において思いが異なる部分があります。そこで、京丹後市がどうしても中心になって取組みを進めているのですが、他市では少し熱が弱いようです。例えば宮津あたりは橋立の世界遺産とかいうような形の取組みの方に力を入れているようですので、どうしても弱いのですが、ただ、そういっても来年実際に1300年になりますのでいろんな京丹後市として取組みを進めていきたいということで、今内容の協議を進めている段階で、もう近にそのことは決まってくるのではないかと考えております。それで、教育委員会の方でも昨年もシンポジウムをしまして、今年も2回ほどシンポジウムをこれとは別にやる予定にしています。で、その予算の方はすでに取りつてあるのでそういう形でもう少し1300年事業の雰囲気作りというか、そういうものを盛り上げることをしていきたいというふうに思っています。それから、観光的な要素も取り入れて他町や他市からもお客さんに来ていただけるような取組みも今後やっていく必要があるかなということで、まだ発表できる段階にはなっていない分もあるのですが、具体的な取組みをする予定にしています。それともう一つが、いろんな事業に冠として付けていくのも今検討している最中です。市としてまだ決定事項ではないのですが、例えば封筒にはそういう文字を入れたり名刺にはこういうものを入れたりというようなことも今後の工夫の中で色々と検討されていくのではな

いかなと思っています。

〈米田教育長〉

公民館の方で何か。

〈土出社会教育課長〉

具体的には、事業の中では取り入れていることはありません。ただ、この今後来年度に向けて、啓発活動というのは、市民に浸透をしていくような活動というものを提案していきたいというふうに思います。

〈文珠委員〉

公民館活動を通していくことで地域と密接な活動になりますので、ぜひ積極的に取り入れていただきたいというふうに思います。

〈小松委員長〉

他にございませんか。先ほどの主催の丹波の文化を伝承する会というのは、新たにできたのですか、それとも前から。

〈藤村教育総務課長〉

4, 5年前からあります。さっき文珠委員がおっしゃったように、任意の団体ということで、峰山町丹波を中心としたこういう会でありまして、ただ、この方も、会長さんも丹波の方なのですけれど、もともとその丹波の国というのは亀岡ですとか篠山ですとか、大きな丹波の中のこの峰山町丹波が中心だったといわれておりまして、その関係でここを中心に自分のところの小さい丹波だけじゃなしに、全丹波のことについて伝承、いろいろと後世に伝えていくというそういった取組みをしている団体であります。

〈小松委員長〉

他にございませんか。

それではお諮りを致します。

議案第53号「丹後国建国1300年事業「シンポジウム・邪馬台国時代の和と丹波（丹後・丹波）」に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認いたします。

それでは、次に報告第11号「京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について」を議題と致しますので、米田教育長から説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これにつきましても教育次長の方から報告します。

<吉岡教育次長>

報告第11号「京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について」説明をさせていただきます。

京丹後市就学指導委員会につきましては、京丹後市就学指導委員会規則に基づき京丹後市に居住する心身に障害のある幼児・児童・生徒に対し、発達や障害の実態に応じた就学指導を行うため設置するものですが、その意義につきましては同規則第3条の規定により要件が規定されておりまして、その区分の規定に基づき、別紙名簿の通り平成24年4月1日付けで委嘱をしましたので報告をさせていただきますと思います。なお、任期は1年となっておりますので平成25年3月31日までとさせていただきます。本来でしたら人事案件のため事前に審議いただくべきものですが、選任については学校医、学校教員、関係行政職員であることから例年報告とさせていただきますのでよろしくお願いしたいと思います。

以上です。

<小松委員長>

報告第11号をご説明いただきました。

ご質問等がございましたらお願いします。

<小松委員長>

ございませんか。

それでは、以上をもちまして本日の議事はすべて終了とさせていただきます。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

<教育次長>

① 「共催」・「後援」申請に係る5月期承認について

(2) 各課報告

<学校教育課>

① 6月行事予定について

<社会教育課>

① 地域づくり講演会について

<小松委員長>

それでは、全体を通しまして何かご質問等がありますか。

以上で、第9回京丹後市教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦勞様でした。

〈閉会 午前9時40分〉

[7月定例会 平成24年 7月3日(火) 午前11時から]